

魚沼民商だより

2019年
10月28日

第2175号

〒946-0032
発行 魚沼民主商工会
新潟県魚沼市板木
電話 025(792)3064
e-mail:uminsyo@rose.ocn.ne.jp

台風19号による被害について

六日町支部・拡大行動しました。

10月18日、六日町支部では拡大と23日に開催する成人病予防学習会のPR行動を5名の参加で行いました。

「俺らの班には商工新聞届けながら話してあるけど、もう少し範囲を広げて声掛けしてみんばーなんねのう」「前に留守だった所に訪問しながら近くの会員の所にも声掛けでこようてえ、支部目標を達成! しんばのう」と話すと元気に出掛けっていました。婦人部役員の大塚カズ子さん(製甲業)は「行動の前に商工新聞を一部拡大してきたよ」とつて参加しています。

秋の運動も前半が過ぎました。

拡大目標達成を目指して支部役員会で話し合い、具体的に行動日を決めましょう。



小出支部・パンコン交流学習会開催しました。

9月17日、民商事務所で小出

支部パソコン交流学習会を行いましたが、残念ながら井上信行支部長のみの参加でした。

今年から青色申告に挑戦をする会員さんに聞いてみると「知り合いのパソコン屋さんに会計ソフトを入れてもらつたけど、仕事で夜は遅いし休みもなかなか取れない。俺も出来るか? 心配。たぶん入力の仕方忘れていると思うんだよなあ」と話をしています。

井上信行支部長は「どうしたら

参加してくれるかな、風間の開催の方が参加しやすいんだろう」と少し弱気でしたが、「10月から消費税率が上がつて帳面は区分記帳しなくてはならなくなつて大変

なはず。自分の商売を守るためにも記帳を大切なんだよ。これから引き続きパソコン交流学習会を計画してみんなが集まる場を作つて置かなくちゃダメなんだよな」と話をしています。

新婦協・婦人部学校に参加しました。



10月20日、だいろいろの湯で開催された新婦協婦人部学校に中沢ノリ子さん(石打・旅館業)、関矢まろみさん(小出・飲料業)、横山美代子婦人部長(小出・製作所)と事務局2名の5名で元気に参加してきました。学習講演では「戦争体験者が語る戦争とは」と題して御年98才の藤田博さんが「子供の頃、日本で男として生まれたからには兵隊になりたいと思つた。みんながそうだった…しかし戦争が終わつても、どこの国のが亡くなつた。戦争は絶対にしちゃいけないんです。今、憲法9条について様々事を言いますが私は世界一の憲法だと想いますしからも憲法9条を守つていきました」と力強くお話しすると会場から大きな拍手が沸きました。「お元気ですが何か秘訣がありますか?」の問い合わせ、「好きな事をしているからです。」とハツキリとお答え下さいました。

参加者は「子供の頃からずっと戦争だったなんて大変だったろうね。生の声を聞けて良かつた。」「今でも教育勉強を暗唱出来るのはヒックリした!」「私も好きな事しながら元気で商売を続けられるよう頑張ろう」と話していました。

法律相談のお知らせ
日 時 11月 21日 (木)
午後1時より
会 場 民主商工会事務所
弁護士 大澤 理尋 先生
(新潟中央法律事務所)
相談料 3,000円
※事前の予約制です。早めに事務所までご連絡ください。

第2期労働保険料の口座引き落とし日は10月31日(木)です。口座残高の()確認をお願いします。尚、一人親方等保険料の振り込みも同日までにお願いします。

労働保険事務組合では建設業、運送業(タクシー、貨物輸送)の一人親方労災も設立しています。労災加入の検討中の知り合いの方がいましたら「民商に聞いてみたら?」とお声掛けください。

全国に大きな被害をもたらした台風19号。時間と共に被害が明らかになつてきています。県内から長岡民商や上越民商・十日町民商の会員から床下浸水、烟の冠水などの状況が報告されています。

魚沼民商でも支部を中心に戸の状況を調べていますが、「被害は無かつたかい?」と会員同士、商工新聞の配達時に一声掛け合つて大丈夫の確認をお願いします。中越大震災から15年、自然災害が毎年の様に起きています。一人ぼっちにしない。活動が大切になっています。